



美浜

学校教育目標
自ら学び、自他を尊重し、
健やかな体で、豊かなかわ
りが持てる生徒の育成

美浜中学校 学校だより
令和 8 年9月1日
No.6 生徒数222名
発行者 小林 和文

HP <https://www.city-urayasu.ed.jp/mihama/>

2学期がスタートしました！

4 5 日間の夏休みが終わり、学校に元気な声が戻ってきました。皆さんは、どんな夏休みを過ごしましたか。部活動に打ち込んだ人、家族や友達と楽しい時間を過ごした人、勉強を頑張った人、それぞれに思い出深い夏になったことと思います。もしかすると、「宿題は計画的に！」と思っていたのに、最終日に魔法のように終わった人や、エアコンの効いた部屋から出る決心をするのが大変だった人もいたのではないのでしょうか。

3年生を中心に、総体・コンクール、本当にお疲れさまでした。結果よりも仲間と励まし合いながら最後まで全力で取り組んだ姿は、美浜中学校の誇りです。特に、3年生にとってこの経験は、これから迎える進路選択にもきっと生きてくるはずです。

さて、2学期は1年で最も長く、行事も盛りだくさんの学期です。定期テストが2回あり、合唱祭、1年生の校外学習、2年生の林間学校、3年生はいよいよ進路選択が本格化します。また、1・2年生には新生徒会本部役員選挙やキャリア教育学習も予定されています。一つ一つの行事には、自分を成長させる大切な学びがあります。成功も失敗も、すべてが皆さんの財産です。ぜひ、何事にも前向きに挑戦してください。

9月になっても、暑さはまだまだ続きそうです。「カレンダーは秋なのに、気温はまだ夏休み中」と言いたくなる日もあるかもしれません。十分な睡眠、バランスのよい食事、水分補給を心掛け、体調管理をしっかりと行ってください。

長い2学期だからこそ、焦る必要はありません。一步一步、自分らしく歩いていきましょう。笑顔あり、感動あり、ときには失敗もあり——そのすべてが皆さんを成長させてくれます。学期の終わりに、「充実した2学期だった」と一人一人が笑顔で振り返ることができるよう、先生方も全力で応援していきます。

9月の生活目標

夏休み明けでも個人の行動を意識して
テストに向けて準備しよう。

9月の主な行事予定

日	曜	行事等
1	火	2学期始業式
2	水	給食開始 3年習熟度確認テスト
3	木	
4	金	B 3年卒業アルバム個人写真撮影
5	土	新人大会（テニス）
6	日	新人大会（テニス）
7	月	非核平和ポスター展（～11日）
8	火	
9	水	B
10	木	卒業生に話を聞く会（3年） 避難所運営訓練（2年） 専門委員会 中間テスト範囲配布
11	金	がん教育講演会（1年）
12	土	浦安市児童生徒科学作品展（～14日） 新人大会（陸上競技・テニス）
13	日	新人大会（陸上競技・テニス）
14	月	いのちの教育講演会（2年）
15	火	
16	水	B 職員会議
17	木	生徒会本部役員選挙リハ
18	金	生徒会本部役員選挙
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日 市P連スポーツ大会（トリムパレー）
22	火	国民の休日 テスト前諸活動停止（～30日）
23	水	秋分の日
24	木	B 当選証書授与式 進路保護者会②
25	金	B 安全点検日 学習会（1・2年）
26	土	新人大会（バスケ）
27	日	新人大会（バスケ）
28	月	
29	火	中間テスト（社、数、国）
30	水	中間テスト（理、英、技・家）

*このQRコードから、美浜中学校の
ホームページを見ることができます。



夏休み前半の総体やコンクールでは、どの部活動も最後まで粘り強く取り組む姿が印象に残りました。3年生はこの夏で部活動を引退しますが、勝敗だけでなく、仲間と励まし合い、努力を積み重ねた経験は、これからの人生の大きな財産となることでしょう。

すでに1・2年生による新体制がスタートしています。「先輩って、やっぱりすごかったんだな」と感じることもあるかもしれません。でも、先輩たちも最初から頼もしかったわけではありません。1・2年生には、先輩から受け継いだ伝統を大切にしながら、自分たちらしい新しい伝統を築いていくことを期待しています。

部活動の結果（8月31日現在）

◇市川・浦安支部総合体育大会

【ソフトテニス部】

○個人戦 7月18日（土）19日（日）

・原田・田中（3年）

対 塩浜学園 3－0 勝利

対 富岡中 3－0 勝利

対 市川三中 3－0 勝利

ベスト8決定戦（県出場決定戦）

対 昭和学院 0－3 敗退

県出場決定戦1回戦

対 市川五中 3－4 敗退

ベスト16

・武田・芳賀（2年）

対 市川七中 3－2 勝利

対 高洲中 1－3 敗退

・井元・永岡（2年）

対 高洲中 2－3 敗退

・長谷部・廣瀬（1年）

対 日の出中 0－3 敗退



【男子バスケットボール部】7月18日（土）

1回戦 対 東海大浦安中 勝利

2回戦 対 浦安中 敗退



【女子バスケットボール部】7月18日（土）

1回戦 対 南行徳中 敗退



【バレーボール部】 7月18日（土）
 ○予選リーグ 対 南行徳中 敗退
 対 市川四中 敗退



◇千葉県吹奏楽コンクール
 【吹奏楽部】 7月25日（土）
 ○中学生の部 B部門 銀賞



※会場内は撮影禁止のため、リハーサルの様子です

◇千葉県総合体育大会
 【陸上競技部】 7月25日（土） 26日（日）

・ 共通男子 200m	長縄 勇伸	23.50
・ 共通男子 400m	田中 陽向	52.95
	NS進出	52.92
・ 共通男子 3000m	荒薦 恒明	9.31.94
・ 共通男子 4×100m R		45.76
	田中 陽向	長縄 勇伸
	成田 飛鳥	下川 琉心
・ 2年女子 100m	和田 結華	13.06
	NS進出	13.40
・ 共通女子四種競技	高橋 凜	1909



◇浦安市中学校バスケットボール交流戦
 【男子バスケ部】 8月29日（土）
 ○男子Aリーグ **優勝**

本校生徒の堂々たる姿に、大きな喜びを感じました！！

7月16日(木)、浦安市文化会館において「第76回社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式」が開催されました。市長、市議会議長、教育長をはじめ、多くのご来賓が参列される厳かな式典の中で、本校2年B組の山田陸斗さんが作文を朗読しました。

山田さんは、昨年度の「社会を明るくする運動作文コンクール」において社会福祉協議会長賞を受賞し、その優れた作文が高く評価され、本式典での朗読を依頼されました。

壇上には多くのご来賓、客席には多くの参加者が見守る中、山田さんは終始落ち着いた態度で、一語一語に思いを込めながら堂々と朗読しました。その姿は実に立派で、会場は大きな拍手に包まれました。作文の内容だけでなく、その真摯な姿勢や表現力にも高い評価が寄せられ、式典終了後には浦安市保護司連絡協議会長から直接お褒めの言葉をいただく場面もありました。

私もその場に立ち会いましたが、山田さんの堂々とした姿を目の当たりにし、校長として大きな誇りと喜びを感じました。学校の代表としてではなく、一人の中学生として、自分の考えを多くの人の前で落ち着いて伝える姿は、本校が大切にしている学びや成長の成果そのものであったと思います。

生徒一人一人がそれぞれの場で力を発揮し、地域の皆様から認められ、温かい励ましをいただけることは、学校にとって何よりの喜びです。これからも美浜中学校の生徒が、自分らしく活躍し、地域や社会の中で輝く姿を数多く見ることができるよう、教職員一同、全力で応援してまいります。



浦安市中学生英語スピーチコンテスト！

8月28日(金)、浦安市民プラザWave101において、「第44回浦安市中学生英語スピーチコンテスト」が行われました。本校からは、3年B組の服部大地さんが代表として出場しました。服部さんは、夏休み中も本番に向けて練習を重ね、発音や表現だけでなく、間の取り方やジェスチャーにも工夫を加えながら準備を進めてきました。

そして迎えた本番では、これまでの努力を自信に変え、聴く人に語りかけるように堂々とした素晴らしい発表を披露しました。大勢の人を前にしても臆することなく、美浜中の代表として自分の力を精一杯発揮する姿はたいへん立派であり、頼もしく感じました。代表として学校の名を背負い、努力を積み重ねてきたひたむきな姿勢と、最後まで堂々とやり遂げた姿をたいへん誇らしく思います。そして、服部さんの姿から、私たちは大切なことを学ぶことができます。それは、目標に向かって努力を重ねることの尊さ、そして努力を積み重ねた先に得られる自信です。

今後も美浜中の生徒一人一人が自分の可能性を信じ、それぞれの場所で一歩踏み出して挑戦する姿を心から願っています。



◇第75回千葉県小・中・高校席書大会

・書星会賞	1 A	松浦 咲歩
・特選	3 A	鈴木 千陽
	2 A	片桐 朱理
・金賞	3 A	大森 柚花
	2 A	細井 朱莉
	1 A	山岸 明架里
	1 A	齋藤 和奏
	1 B	長谷部 夏海
・銀賞	3 A	菊池 凜咲
	3 A	杉岡 也雲
	2 A	廣澤 直輝
	1 A	山田 千乃
	1 B	吉田 諭馬

◇令和8年度浦安市健歯児童生徒優秀者

○口腔保健健歯の部

・優秀	3 A	水澤 実結
	3 A	田岸 咲愛里
	3 B	澤田 啓樹

『千葉教育』に古舘陽子先生の実践が掲載されました！

本校では、数年前から、研究主題を「主体的に学びに取り組む生徒の育成」とし、探究型学習を取り入れた授業づくりに取り組んできました。その研究を中心となって推進してきた古舘先生の実践事例をご紹介します。

なお、本記事は千葉県総合教育センターのHPでもご覧いただけます。

(千葉県教育情報誌「令和8年度『千葉教育』蓮号(7月17日千葉県総合教育センター発行)」)

チーム学校の仲間たち

「学びは楽しいもの！」と実感できる探究型学習を 学校を動かす ～「主体的に学び続ける」生徒の育成を目指して～

浦安市立美浜中学校教諭 古舘 陽子



1 はじめに

本校では、現行の『学習指導要領』を踏まえ、予測不能な「正解のない」社会が到来する中、今まで以上に自ら考え判断し行動する「主体的」な人材が強く求められると考え、「主体性」を学校のキーワードに据えた教育活動の展開を実践している。令和4年度から「主体的に学びに取り組む生徒の育成」を研究主題に設定してきた。その取組の中に中学2年生で行う探究型学習「シン・マナビ」がある。

「シン・マナビ」は、「学び＝テスト勉強」という子供がもちがちな固定観念を崩し、自分の生き方に対する考えにも影響を与えるような探究型学習プロジェクトを目指し、立ち上げた学習である。「もっと知りたい」「なぜだろう？」という誰もがもっている素直な気持ちを突き詰めていくと、「テスト勉強」とは違う「自分にとっての学び」の価値に気付くのではないかと考えた。4年間の実践を通して分析した生徒が学ぶことの楽しさや意義を実感できるような探究型学習を成立させるためのポイントを紹介していきたい。

2 探究型学習「シン・マナビ」のポイント

(1) 1人1テーマ「マイ探究(個人探究)」

- 「学び」はもとも「なぜ?」「もっと知りたい!」から始まるもの
- 「学び」に没頭する時間をつくりたい

本校は、「自分から学ぶとはかどるし、楽しい!」と生徒に実感させ、生徒の主体性を伸

ばしていくことを目指しているため、「シン・マナビ」は「マイ探究(個人探究)」の形式をとっている。やらされる勉強ではなく学びの原点に戻り、子供の頃のように学びに没頭する時間をつくるためである。以下は令和7年度のテーマの一例である。

- 自分の手に合ったシャープペンシルは作れるのか
- 自然と犯罪率(治安)に関連性はあるのだろうか
- ことわざを実際に試してみたらどうなるのか
- 両利きになるにはどうしたらよいのだろうか
- サッカーのスパイクで扱いやすいものは何か
- 服の色の組合せによって印象はどう変わるのか

(2) 最初から「探究」は行わない

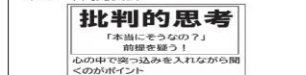
- まずは「調べ学習」からスタート
- 調べてみて生まれた「なぜ?」「もっと知りたい!」から「問いの素」が生まれていく(「エピソード0」1学期・計9時間)
- 導入は教師が行う =「Good model」に!

まずは慣れている「調べ学習」から始める。調べていく中で生まれる「なぜだろう」「もっと知りたい」と思うことから、「探究」で最も重要な「問いの生成」を始めていく。本校ではこの「調べ学習」を「エピソード0」と設定して1学期に行い、「シン・マナビ」は夏休み明けから開始している。

また、「エピソード0」の導入は教師が行う。教師自身が生徒と同様に自由テーマでプレゼンテーションを行うことで、生徒に「楽しそうだな」と思ってもらい同時に、「Good model」としての効果を狙っている。

(3) 「探究」を深めるのは「他者」の存在

- 「批判的思考」を用いた アドバイスタ イム・中間発表会

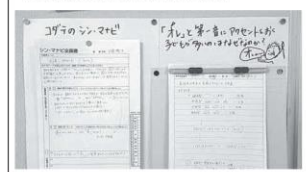


「探究」を進めていく上で必要不可欠なのが「批判的思考」である。この「批判的思考力」をつけていくために、授業の始めに「アドバイスタ イム」を設定している。「中間発表会」ではテーマごとに組んだグループで「批判的思考」を用いた協議を行った。

「探究」は個人で行うものだが、自分とは違う視点から問いについて考えてくれる他者の存在があるからこそ深く考えることにつながっていく。生徒同士でアドバイスをしあったり一緒に考えたりする姿がよく見られた。

(4) 教師は「伴走者」

- 「先生、どうすればいいですか?」
- 「先生もわからないよ」「なぜだと思う?」
- 教師も「シン・マナビ」に取り組む
- 「先生も試行錯誤しているんだ」
- 「答えは自分で見つけ出すもの」



「探究」は自分だけの問いを設定しているため、デジタル機器で検索しても求めている答えが出てこない。そんな時に、「先生もわからないよ」「なんでだろうね?」と一緒に考えていく姿勢が大事になってくる。また、教師も

チーム学校の仲間たち

生徒同様に「シン・マナビ」に取り組み、答えのない問いに対して試行錯誤している姿勢を見せることも、生徒が「なぜ?」と問題に対しじっくり向き合い、学びに没頭していく環境づくりに効果的であると考えます。

3 おわりに

○令和7年度(「シン・マナビ」後アンケート) 「シン・マナビ」は新たな気付きや学びを与えてくれた …83%

- ・自分が好きなものでも、ちゃんと調べたり見つめ直すことで新たななにかが見えてくる。
- ・好きなことをとことん探究することも学ぶことであることを気付かせてくれた。
- ・学ぶ意味を教えてくれるような活動だった。
- ・これまでの自分よりもその問いに対する視野は間違いなく広がった。
- ・普段学習しない問いだったのでわくわくした。

あなたにとって「シン・マナビ」の「シン」とは?

- 問 この学習後に勉強が楽しくなった。
- 問 出される学びは勉強で、自分で気になったことを考えるのが本当の学び。
- 問 問いの答えを見つけるために長い時間を使って深く没頭して探した。
- 問 自分の学ぶ姿勢も知識も進化したと思う。
- 問 学習能力が伸びる。問 学びに没れた。
- 問 学びの中心だと思った。
- 問 結果が出ることを信じて学ぶ。
- 卒業生アンケート(令和4年度2学年)
- ・主体的に学ぶことは楽しいことだとわかった。
- ・高校の探究型学習の授業に生かすことができた。
- ・社会問題への考え方が変わった。「シン・マナビ」関連で企業のインターンシップに参加している。

「学び」は一生続くものであり、「探究型学習」もこれから続いていくものである。今後も「主体的に学び続ける」生徒の育成を目指して、実践を継続していきたい。